

Information

教員人事

[採用] (平成24年10月1日付)

法学部法律学科准教授 中村英樹
基盤教育センター准教授 植田正暢
基盤教育センター講師 マーフィ ロバート 松一

[退職] (平成24年9月30日付)

基盤教育センター准教授 内田若希

会議開催 (平成24年7月～9月)

第166回教育研究審議会
平成24年7月10日(火)

【審議事項】

第1号 教員の採用について
第2号 ベトナム・ハノイ科学大学及びダナン工科大学との
大学間協定の締結について

第167回教育研究審議会
平成24年7月24日(火)

【審議事項】

第1号 教員の採用について
第2号 特任研究員の選考について
第3号 澳門大学及び香港大学との覚書締結について

第168回教育研究審議会
平成24年9月11日(火)

【審議事項】

第1号 教員の採用について
第2号 教員の再任について
第3号 環境 ESD プログラムの運営体制について

第169回教育研究審議会
平成24年9月25日(火)

【審議事項】

第1号 教員の人事について
第2号 特任教員の選考について
第3号 学生会交渉申し入れに対する回答(案)について

12月1日 就職活動解禁

がんばれ就活生!

北九州市立大学サテライトが就職活動を応援!

昨年12月1日福岡市天神地区に開設された福岡サテライトに続き、
東京(新宿)・大阪・広島サテライトが開設されます。



01 ラウンジ利用

選考前、会社説明会後に自由に立ち寄り、
休憩したり、情報交換の場所として利用
できます。インターネット、コピー機、デスク、就
活対策本など、全て無料で利用できます。



予約不要

02 カウンセリングサービス

様々な企業のコンサルティング経験がある
ユニバースクリエイトのスタッフが、就職相
談・面接練習・エントリーシートや履歴書の
添削をいたします。みなさんのお悩みに親
身に対応致します。 ※福岡のみ



要予約

03 就活対策セミナー

ユニバースクリエイトが主催する就活に関
するセミナーや対策講座を開催します。
様々な大学で、ガイダンスやセミナー経験の
ある講師が、みなさまの要望、選考時期に
合わせて役立つ内容を盛り込んで開催。



要予約

〈予約方法は、サイトをご確認ください〉

まずは検索!登録は裏面へ

<http://www.unicrenavi.com/>



【更衣室】面接の前後にリクルートス
ーツや私服に着替えることができます。



【PC利用】会社説明会予約や求人
情報の閲覧など、インターネットを無料
利用できます。また面接のシュミレ
ーションができるシステムがあり、一人
でも面接トレーニングできます。

ユニクリナビ

検索

青嵐

The University of Kitakyushu Information SEIRAN vol.30

発行日/2012年12月1日 発行元/北九州市立大学広報入試課

未来の風をつかみ、大きく羽ばたけ

The University of Kitakyushu Information SEIRAN

発行日/2012年12月1日 発行元/北九州市立大学広報入試課

Seiran 青嵐

公立大学法人 北九州市立大学 学報

題字: 阿南 惟正 前理事長筆

「北九大魅力発信プロジェクト」
が活動開始!!
文部科学省採択事業について
Enjoy UK Life
ゼミ紹介/教員人事・会議

特集

学生プラザ 開設5周年

学生プラザはキミをサポートする応援団!

学生プラザ 開設5周年



学生プラザはキミをサポートする応援団！

学生プラザは、「心と体」、「夢と未来」の応援団というコンセプトのもとに、2007年10月に開設されました。大学生生活全体を充実させるべくあらゆる相談にワンストップで対応。「キャリアセンター」や「学生相談室」といった複数の専門セクションを一カ所に集め、キャンパスライフを満喫しながら、希望する進路への就職支援などを行っています。そうした取り組みから、学生プラザも早5年を迎えました。

キャリアセンター

就職や進路に関する情報を集積。進路の実現への支援だけでなく、社会人としての活躍の場が広がるように、人材育成のためのセミナーやガイダンスを実施してサポートしています。



就職支援室

就職ガイダンスや業界セミナーなどを企画開催。履歴書の添削や模擬面接も体験してみてください！



プロジェクトルーム

学内・学外インターンシップなど、学生主体の活動の場。企業説明会や自己分析セミナーなどのワークショップも充実していますよ！

キャリアセンターは、自分の未来図をカタチにする場所。

キャリアセンターは、これからも、社会で働くための人材育成を目指して、学生と時代のニーズに合わせた取り組みを続けていきます。

- **キャリアに関する授業**
1年生のときから既に始まるキャリア構築のための多彩な授業を展開。
2年生になれば、早速実際に活躍する企業人や団体の方から働く現場の話聞き、キャリアアップに貢献！
- **学生主体の実践プロジェクト**
学内合同業界研究会プロジェクトや、キャリアナプロジェクトなど、学生自身が動き、学ぶ実践の場を設けています。どんどん参加して実践的な力を身につけよう！
- **充実した就職活動支援**
3年生からインターンシップや就職支援講座等を進め、4年生になるころには、しっかりとした就職活動への知識が身につけていきます。

社会で活躍する人になってもらうために、私たちがサポートします！

【キャリアセンター】 部長 美登洋二



「社会で働く上で必要とされる力」の養成と、専任教員によるキャリアデザインの授業やキャリアカウンセラーによるカウンセリングを実施しています。

併設のプロジェクトルームでは、年間130社を超える学内企業説明会やグループディスカッション対策講座など、各種就職支援講座等を実施して学生をサポートしています。さらに、オープンキャンパス、ジョブハンター(合同業界研究会)など様々なイベントに利用されています。就職活動の多様化と就職活動に対する準備は、開設前と比べ物にならないものになってきています。

先日は卒業から間もない先輩方に集まっていただき、OB・OG交流会を実施しました。社会人としての心構えや仕事についてのやりがいなどをテーマに、ワールドカフェ形式に歓談の場が設けられました。社会人と関わることの少ない学生には、仕事に向かう姿勢や現場の声を聞くいい機会だったようです。

キャリアセンターのスタッフは皆さんの強力なサポーターです。就職に限らず、チャレンジすることに無駄な経験など一つもありません。時間がかかっても自分が納得できる進路を獲得するために、一緒にがんばりましょう！

経歴
キャリアセンター 部長 美登洋二
TOTO株式会社での国内営業、コールセンターマネージャーを歴任し、2012年4月より本学キャリアセンター部長に。出会い、チャンスを決める必要はありません！こだわりを無くし、発想を超える努力を！



学生相談室

充実した学生生活を送るためには、心も体も元気でいたいものです。学生プラザでは学生生活の全般にわたる色々な相談を受け付けています。優しく温かい、でも、時にはちょっと厳しくアドバイスしてくれる、思わず心も体も癒されるスタッフが随時対応し、学生の皆さんのキャンパスライフを支援しています。



● わからないことは学生なんでも相談窓口へ・・・学生なんでも相談窓口

勉強についていけない、就職活動がうまくいかない、友達ができない、人間関係が築けない、ヤル気がでない、誰に相談すれば良いのかわからない、などいろんな悩み誰にでもありますよね。そんな時は、学生なんでも相談窓口に行ってみてください。それぞれの悩みに応じた解決方法を一緒に教えてくれるはずですよ。

● 複雑になった悩み、1人で抱えないで・・・カウンセリングルーム

学生に関わらず、現代では複雑で難しい悩みを抱えることも多くなりました。カウンセリングルームでは臨床心理士が様々な悩み、相談に応じています。友達や恋人への悩みだって、一人で抱えないで相談してみてください。

● 時には無理せず、休んでみて・・・保健室

授業にサークルに地域活動など頑張り屋さんの本学の学生の皆さん、何かと忙しいキャンパスライフでは、時には疲れることもあるでしょう。体調が悪かったり、ケガをしてしまったら、遠慮なく保健室に行ってみましょう。優しい看護師がお待ちしていますよ。



学生生活のあらゆる悩みを解決するために、私たちがサポートします！

【学生相談室】 室長 生田カツエ



事務職員、保健看護職員、臨床心理士など多職種の職員6名で構成し、学生が抱える様々な問題の解決に向けて、教員と連携して支援を行っています。

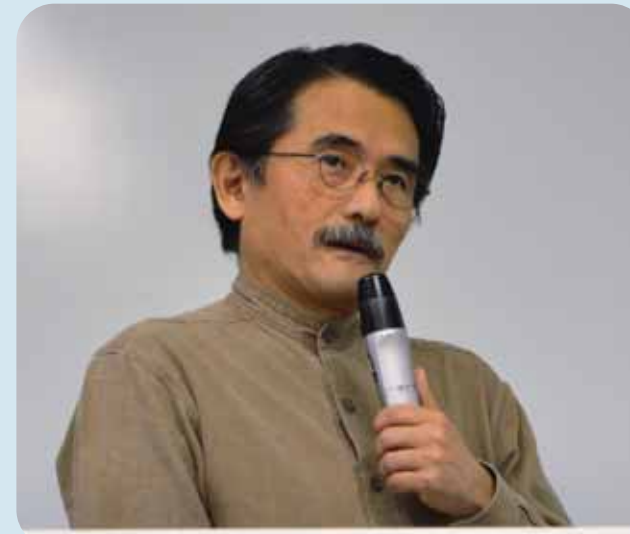
学生プラザが開設するまでは、相談窓口がバラバラで、学生の情報が一本化されていませんでした。何に悩み、何を解決するかをスピーディーに行うための大改革でしたが、結果としては◎でした。学生への面接、保護者への連絡といった場所はプライバシーを確保し、多くの人が利用するところは可視化を進めています。カウンセリングルームや保健室には、皆さんを思うスタッフのアイデアがたくさん詰まっているんですよ。

以前、足の不自由な学生が「西門は車椅子で入れない」という悩みを寄せてきました。車椅子を用意し、学生と同じ状況を作ってみたところ、道路の高低差に驚かされました。すぐさま整備を行って、学生の悩みを解決したのですが、とても考えさせられるエピソードとして残っています。

最後に、本学の学生の特徴は、相手を思いやる人がたくさんいること。お友達のちょっとした変化が心配なときは、いつでも相談に来てください。もちろん、自分の悩みにも遠慮なく、気軽に相談室を利用してくださいね。

経歴
学生相談室 室長 生田カツエ
北九州市八幡西区役所保健福祉課長、市民センターの館長を歴任後、2005年より学生相談室長に。前職での経験を生かし、相談窓口の一本化を推進。学生プラザの創設に奔走した一人として知られる。

学生プラザ開設5周年を記念して 林望先生の特別講演会を行いました。



開設5周年を迎えた学生プラザでは、11月10日(土)に「リンボウ先生」として林望(はやし のぞむ)先生を迎え、「知性と感性を磨く暮らし方」と題した特別講演会を行いました。

林先生は古典の研究者である一方、読書のプロでもあるなど多彩な趣味をお持ちです。講演では、イギリス留学中のエピソードや万葉集の歌を例にした穏やかでユーモアのあるお話でたちまち会場を魅了していました。

「文化と文学は深い結びつきがあり、変わらないヒューマニティがある。だからこそ、古典を読む事は日本人として素晴らしいこと。若いうちからぜひ読んでほしい。また、読書は一人一人の個性的なもの。具体的に、自由にイメージを描ければ、自分にスッと語りかけてくるものです。読書や趣味を濃くし、ユーモアのセンスを磨くことで、朗らかに、コミュニケーションに長けた歳の取り方をしたいものです。」と、日々の暮らしのスキルをUPさせるヒントを教えてくださいました。

林望先生の知的で感性豊かな言葉たち(講演内容より抜粋)

「読書」・・・それぞれの人が自分の問題意識を持ってするのが読書。

「良く学び、良く遊ぶ」・・・エドワード・グレイの言葉を引用。

何事もバランス。つまり「プロポーション」を考えることが大切。

知性には・・・「日々の暮らしの中の独立性が重要」

お互いに寄りかかり過ぎるのも良くないし、朗らかにお互いにコミュニケーションを取りながらも独りで生きられる生活スキルを身につけよう。

・・・そのためには「生きがい」を持ち、「健康」で「センスofユーモア(生活を楽しむ気持ち)」を大切にしよう。

林先生のご自宅では、一日3食の料理担当は先生ご自身だそうです。

また、ご自宅の書庫には若い頃から古本屋さんや書店とのお付き合いのポイントを身につけて集めた2万冊もの書物が保管されており、本との出会いのスペシャリストでもあります。

また、林先生のご趣味は声楽。バリトンの歌手として楽しんでおられるとか。こうした自分の中にある様々な「切替スイッチ」を巧みに使い分け、知性と感性に溢れた生活スキルをお持ちの先生だからこそ、講演の中で繰り出される言葉の一つ一つが輝いておられるんですね。



知性と感性を磨く暮らし方

北九州市立大学学生プラザ開設5周年記念
林望
特別講演会
平成24年11月10日

北九大の未来に向かって発進！ 北九大魅力発信プロジェクト 活動開始！



『北九大魅力発信プロジェクト』とは、在学生による北九州市立大学の魅力を紹介するプロジェクトで、夏季オープンキャンパスプロジェクトのメンバーから募集した14名で構成されています。最初の活動として11月19日から運行を開始した北九州モノレール「北九州市立大学号」の出発式を企画し、この中で学長より正式に辞令を受け取りました。またこの出発式では出席したメンバーが同じポーズで一番列車を見送りました。今後は本学を訪問する高校生へのキャンパス案内や、出身高校への訪問、広報用グッズの開発などを行い、本学の魅力を学外に広くPRする計画になっています。

北九州モノレール「北九州市立大学号」とは

北九州モノレール「北九州市立大学号」とは、モノレール沿線住民やJR小倉駅利用者など市内外へ向けて本学をPRするために運行されているもので、車体に濃紺と緑の配色を施し、北方、ひびきの両キャンパスをイメージさせたラッピング列車です。1日12～13往復、当面1年間の運行予定です。



ENJOY! THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU LIFE! Special editing



第7回 スポーツフェスタ2012

ソフトボール

7月14日(土)～16日(月・祝)に夏季スポーツフェスタ、10月8日(月・祝)～21日(日)に秋季スポーツフェスタを開催しました。

今年度は、初めて年2回開催とし、多くの学生・教職員に参加してもらおうと企画しました。夏季スポーツフェスタではソフトボールとバレーボール、秋季スポーツフェスタでは、体育祭、バドミントン、バレーボール、卓球、バスケットボール、ソフトボールを行いました。北方キャンパス・ひびきのキャンパスの学生・教職員が参加し、その数は、のべ1,469人でした。

各種目の1位～3位やMVP、チーム名グランプリを、青嵐祭のメインステージで表彰しました。

たくさんのご参加に、スポーツフェスタ実行委員一同、感謝しております。来年度も学生・教職員の皆さんに楽しんでもらえるようなスポーツフェスタを開催したいと思います。



バスケットボール



バレーボール



バドミントン



卓球



障害物競走



玉入れ



綱引き

ENJOY! UNIVERSITY OF KITAKYUSHU LIFE!

北九州市立大学には様々なサークル、学生活動があり、それぞれ活気に満ちた学生生活を楽しく送っています。そんなサークル活動や学生活動の成果をご紹介します。

馬術

第67回岐阜清流国体第3位！

9月29日より岐阜県にて行われた第67回国民体育大会(岐阜清流国体)で、本学の稲田 康人さん(経済学部経営情報学科)が馬術のダービー競技において第3位という輝かしい成績を収めました。



軟式野球部

第35回全日本学生軟式野球選手権準優勝！

8月26日～30日に山口県下関球場で行われた第35回全日本学生軟式野球選手権大会に軟式野球部が出場しました。1回戦で首都連盟代表の青山学院大学、2回戦で東都連盟代表の明治学院大学、準決勝で中部日本連盟代表の愛知大学を破り、決勝戦まで進みましたが、東都連盟代表の中央大学に惜しくも敗れ、準優勝という結果でした。



空手部

第56回全日本学生空手道選手権大会出場！

本学空手道部の濱 和恵さん(文学部人間関係学科1年)が、5月6日に宮崎県武道館にて行われた第53回全九州空手道選手権大会において、個人組手で好成績を収め、第56回全日本学生空手道選手権大会へ出場しました。



水泳サークル

第59回全国国公立大学選手権水泳競技大会 200m背泳ぎで8位入賞！

8月8日～9日に高知県で開催された第59回全国国公立大学選手権水泳競技大会に本学水泳サークルの持永 洋貴さん(地域創生学群4年)と白石 恵理さん(地域創生学群3年)が出場し、200m背泳ぎで白石さんが8位に入賞しました。



左が白石さん、中央が持永さん

囲碁・将棋部

第48回全日本女子学生本因坊決定戦出場！

本学の囲碁・将棋部に所属している堀田 温子さん(法学部政策科学科3年)が8月10日～12日に行われた囲碁の全国大会「第48回全日本女子学生本因坊決定戦」に九州地区代表として出場しました。



前列右から3人目が堀田さん

よさこいサークル灯炎

わっしょい百万夏まつり 感動大賞受賞！

8月4日に小倉で開催されたわっしょい百万夏まつりにて、本学のよさこいサークル灯炎が感動大賞を受賞しました。今年度は西日本各地から50チーム(約1,000人)が参加し、勝山公園大芝生広場、リバーウォーク北九州、COLET、井筒屋クロスロード、小倉駅JAM広場の全5会場で開催されました。



女子ハンドボール部

第62回九州地区大学体育大会(九州インカレ) 準優勝！

6月23日～24日に大分県のべっぷアリーナ(別府市総合体育館)にて行われた第62回九州地区大学体育大会ハンドボール競技に女子ハンドボール部が出場し、決勝で惜しくも佐賀大学に敗れ、準優勝となりました。

平成24年度 文部科学省 「大学間連携共同教育推進事業」の選定について

本学が申請した『まちなかESDセンターを核とした実践的人材育成』事業が、文部科学省の「大学間連携共同教育推進事業」に選定されました。(補助期間:平成24~28年度)

『まちなかESDセンターを核とした実践的人材育成』事業とは

「地域再生の核となる大学づくり」を推進するため、ESDを中心とした実践的な教育に取り組むことを目的に、北九州市の中心市街地に市内8大学共同の地域活動拠点となる「まちなかESDセンター」を設置するものです。

センターでは、主に以下のような取組を実施していきます。

- 多様な専門性を持つ連携大学との協働による実践的な地域活動プログラムの実施
- ESDに関する講座の実施
- 市民へESDの理念を普及・啓発する「ESDフォーラム」の開催
- 小中学校のESDに関する授業等への講師・学生等の派遣
- 海外のESD推進拠点等との連携による海外での実践活動(2~3年後)

ESDって?

「持続可能な開発のための教育」(Education for Sustainable Development)の頭文字を取った国連の取組みのこと。今、全世界的な環境破壊や資源保全が問題化され、一人一人が高い意識をもって行動することが求められています。特に、教育の現場には、学校という垣根を越えて、国際機関や企業等あらゆる主体間で連携を図りながら、環境、福祉、ジェンダー等幅広い分野で地球的な視野を持つ市民を育成するための教育に期待が寄せられています。

「大学の地域貢献度ランキング」で 全国第3位を獲得(公立大学では第1位)

日本経済新聞社が実施した「大学の地域貢献度ランキング」調査(対象:全国の国公立大学532校)において、本学が総合ランキングで全国第3位(公立大学では第1位)となりました。なお、本学は、本調査7回中6回が10位以内、うち5回は3位以内にランキングされています。

また、調査項目別ランキングにおいても、「企業・行政などに関する項目」が2年連続で第1位となったほか、「住民に関する項目」は満点を獲得し、2年ぶりに第1位となりました。

調査項目のうち高い評価を受けた主な取組みとしては

- ①放射性物質で汚染された廃棄物を密封して保管する技術の開発等、企業との共同研究・受託研究が多い
- ②住民向けの公開講座、研究成果を還元する学術講演会等の開催件数が多い
- ③ボランティア活動が単位化されている
- ④地域創生学群や地域共生教育センターの地域活動が活発
- ⑤インターンシップ等の派遣人数が多いなどです。

【多機能盛り土】

放射性物質で汚染された廃棄物などを密封して保管する技術を、国際環境工学部の伊藤洋教授が企業と共同開発



北九州市立大学 ゼミ紹介

環境問題を通して 社会のしくみを知る

国際環境工学部環境生命工学科 教授 松本 亨

松本研究室では、人間活動あるいは社会経済活動と環境の関係を、システムの視点から分析する研究をしています。具体的には、循環型社会や低炭素社会形成、あるいは途上国の環境問題の解決といった問題に対して、様々な主体としくみ(政策、資源循環システム、都市構造、サプライチェーン、ビジネスモデル等)に焦点をあて、環境システム工学のみならず、経済学、経営学、政策科学といった分野の手法も援用して分析します。卒論生(学部4年)は全員国際環境工学部の学生ですが、大学院生は出身大学、専門、国籍ともに多岐にわたります。社会人学生もいますので、年齢も様々です。学生の適性に応じてテーマを設定しますので、研究室全体ではかなり学際的な研究活動を行っていると思います。

企業などとの共同研究も多いので、学生の甘えを捨て、研究員として成果に責任を持ってくれることを期待しています。自分の研究の持つ社会的意義を自覚してもらうために、打合せにも原則同席してもらいますし、外部とのメールのやりとりも支障のない限り担当学生にも同送し



松本ゼミ

ます。学会発表にも積極的に取り組んでもらいます。学生は、大学の中だけでなく外から刺激を受けることで、飛躍的に成長するようです。

環境問題は社会の諸問題の縮図という面があります。現実社会の問題に触れ、原因探求や課題解決に頭を悩ます過程で、社会のしくみを実体験として理解してくれればと考えています。



PROFILE

松本 亨(まつもと とおる)
国際環境工学部環境生命工学科 教授
(株)野村総合研究所、九州大学を経て、2001年国際環境工学部開設と同時に赴任。現在、環境科学会理事、日本環境共生学会理事・九州支部長、土木学会環境システム委員会幹事長を務めている。中国天津市にある南開大学客員研究員・名誉教授。専門は環境システム学。

「生涯健康で豊かな生活」 を送るため

文学部人間関係学科 教授 加倉井 美智子

「生涯健康で豊かな生活」を送るため、私たちのゼミでは、スポーツの役割についての研究や活動に取り組んでいます。運動やスポーツルールは、年代やグループの特徴によって自ずと変わって来ます。ゼミでは、自分の興味のある年代の身体面や精神面の特徴を調べ、アイデアや想像力を働かせてその状況に最も適した遊び環境や運動プログラムを考えて発表していきます。運動の得意な学生ばかりでなく、観戦や語ったりすることが好きという幅広い学生が集まっているので、多角的な角度からの意見が活発に飛び交います。

ゼミの恒例行事としては、1月に幼稚園児(4~5歳)を北九大に招いて、ゼミ生が考案した運動プログラム(鬼ごっこやオリエンテーリングなど)を提供し、園児と一緒に半日間楽しんでます。毎年、ゼミ同士の仲の良さが自慢です。

学生には、言葉では語られない部分の五感をしっかり感じながら、様々な年代や立場の違う人との関わりを大切に、多角的な方向から物事を考えて判断できる人になってほしいと考えています。



幼稚園児を大学に招いて運動プログラムを提供する活動



加倉井ゼミ



PROFILE

加倉井 美智子(かぐらい みちこ)
文学部人間関係学科 教授
北九州市生まれ。日本体育大学体育学部体育学科卒業。専門種目は、体操競技。現在は、幼児期の遊びや運動環境などを研究テーマにしています。担当科目は「身体スポーツ論」「フィジカル・ヘルス」「生涯スポーツ実習」などで、運動選手の競技力向上や健康維持・増進に関することを担当しています。